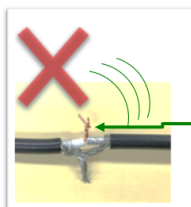


【番外編1】 テレビの手びねり配線による障害



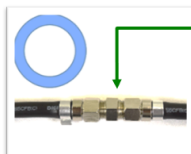
最近の特異な電波障害事例と分析

- テレビの手びねり配線により、IF(中間周波数)漏洩による他の無線システムへの影響



この露出配線部分から、電波(地デジ・衛星放送)が漏れてしまいます。また、雑音を受けやすくなるため注意が必要です。

図1 手びねり配線の例



コネクタで接続することで、電波の漏れを防ぎます

図2 正しい接続の例

図1及び図2 <https://digital.catv.or.jp/index.html>より引用

○原因

- 手びねり部分の導体がアンテナとなって外部へ電波が輻射(通常は、同軸ケーブル内のみ伝送される)

○影響

- 別のテレビ受信機がブラックアウトやブロックノイズ
→漏れた電波が、放送波を受信する際に影響
- 衛星放送用波漏洩による他の無線設備への影響
→航空標識、GPS、電波天文、携帯電話、デジタルコードレス、無線LAN、Bluetoothなど。
現代の衛星放送はCHが増え(4K,8K)、伝送周波数帯域が拡大したことによる影響(BS左旋、右旋)(110° CS左旋、右旋)
- 館内共聴や宅内配線が障害を受けやすくなり、トラブルの原因となります。

対策 **テレビ配線はガス管・水道管と同じライフラインです**

- ケーブルの末端は、必ずコネクタ加工する
- 分岐や延長の際は市販のコネクタ付きケーブルを購入する

